

# きららとちぎ

## あなたの自分力UPを応援します

2021年度  
とちぎ市男女共生大学

- ★新型コロナウイルス緊急事態宣言により、10月19日（火）から始まりました。
- ★2022年度も充実した講座を用意しますので是非ご参加ください。

場所 市役所3F 正庁  
時間 14:00-15:30

講話

### 「好きなことを仕事にする」

パナプラス(株) 代表取締役社長 小竹 花絵さん



小竹さんは、11年前に29歳で栃木に移住し、起業しました。現在は、野菜苗とミニトマトの生産・販売で数々の賞を受賞しています。職場の人材は、20代から70代と幅広く90%が女性ということです。

きっかけは、学生時代に実習で野菜を育て、その野菜で作った料理のおいしさに感動し、全く関心のなかった農業に興味を湧いて、「農業をやる」と決意しました。

人生の目標は人それぞれ、しかし目的は共通

「幸せになる事」、「仕事を好きになるとより幸せになる」とのお話でした。

常に新しいことに挑戦する好奇心と、失敗もバネにして前向きに進んでいく姿は頼もしく、経営者としての弛まぬ努力が垣間見られました。

みんなが笑顔になることが大切だと、ユーモアを交えながらのお話に、参加した人たちも皆笑顔で聴講していました。



#### 受講生の感想・意見

好きなことを職業にすると、苦にならず、毎日が楽しみに生きていけますね。

ご自身を大事にする生き方、働き方がステキで、私も小竹さんのように生きてみたいと思いました。

「目指す信念、ブレない想いがあれば回り道も問題なし！」という言葉が心に残りました。

人生の目的は、「幸せになる」自分だけが幸せではなく、人にも味わってもらいたい…皆が笑顔になれる仕事ってすばらしいですね。



# 男女共同参画社会

## 中学生向けキャリアデザイン講座開催

栃木市では、「誰もが生き生きと暮らし、豊かで活力ある男女共同参画社会の実現」を目指して、様々な施策を行っています。その中の重要な施策の一つにワーク・ライフ・バランスの推進があります。そこで今年度は、(有)フェードイン代表の工藤敬子さんを講師に、市内の中学校2校（栃木東中学校と藤岡第一中学校）で、キャリアデザイン講座を実施しました。

### 栃木東中学校



#### 生徒の感想

- ・年齢や性別に関係なく、自分がやりたいことをやればいいんだと思った。
- ・何にでも挑戦して、失敗してもその経験を生かし経験を積んでいくこと、プラス思考でいくことを学んだ。

### 藤岡第一中学校



#### 生徒の感想

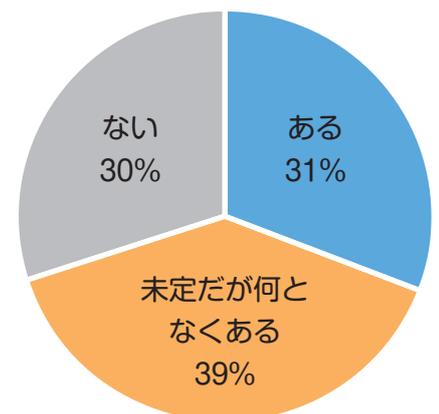
- ・進路について悩んでいたが、やりたいと思ったら挑戦したらいいと聞いて、少し楽になった。
- ・色々な職業を知り、自分には可能性があることを知ることができた。

目まぐるしく変化する未来は予測不能。そのような時代を生きる未来だからこそ、ずっと学び働き続けることが必要。「能力って何?」「働くってどういうこと?」「豊かな人生を歩むために必要なことって何だろう。」を考えながらお話を聞きました。一緒に来校された現役大学生の方からも、大学生活等についての貴重な話を聞くことができました。

#### ○将来の夢やなりたい職業について

中学生（177名）にアンケートを採りました。「将来の夢やなりたい職業等何かありますか?」の問いに、中学2年生の現時点では、「ある」が31%、「未定だが何となくある」は39%で、70%の生徒の皆さんが具体的な職業あるいは何らかの方向性を抱いていることが分かりました。一方で30%の生徒が「ない」と回答していましたが、本日の講話を通して、「将来についての不安が消え安心できた。」「ゆっくりと自分と向き合いたい。」「色々なことを経験して挑戦していけばいいと学んだ。」等多数の前向きな声を聞くことができました。

#### 将来の夢や職業について



# の実現のために

## 女性リーダーから学ぶ

第1回 栃木市男女共同参画推進本部  
検討部会研修会  
6月21日（月）栃木市役所

講話 みんなちがって みんないい  
～「ジェンダーフリー」と女性活躍～

講師 青木 千津子さん  
(栃木市教育委員会教育長)



「いいまちには いい学校がある。」「いい学校は いいまちをつくる。」のコンセプトのもと、校長として学校経営に取り組み、現在はとちぎの子どもたちの健やかな成長のために、教育長として全力で取り組んでいる青木教育長に講話を頂きました。

ジェンダーフリーとは、社会的性別による社会構造や社会的役割にとらわれずにいこう、という考え方だと。これまでの人生を振り返り、エピソードを交えながらのお話の中で、実体験をふまえた内容が興味深く引き込まれる講話でした。また、日本の「ジェンダー」に関する歴史と変遷・学校の今、子どもたちの今等実践例を話され、心に響く感動的なお話でした。終末には、「一人一人の地道な活動が男女共同参画社会実現への道」と、力の込められた一言が添えられました。

### 感想

- ・一人一人の考え方の意識を変えることで、全体の考え方が変わると思った。「個性」をなくすことのないようにしたい。
- ・職場内においても、おかしいと思うことには声を上げ、よりよい職場そして社会を目指していけるよう頑張ろうという気持ちになった。
- ・学校教育の変化も分かり参考になった。多様性の重要性を認識した。
- ・偏見をなくすために、家庭・職場・地域で変だなと感じたら、言葉にして伝えていきたいと思う。
- ・子供たちは受容性が高い。大人の人を枠にはめたがる行為は見直すべきと考える。
- ・女性としてキラキラと活躍している姿を見て、勇気と希望がもてた。  
仮の自分を演じるのではなく、自分らしく自分に出来る事を一生懸命やっていこうと思った。自然に任せることも大切だと。男女関係なくそれぞれが自分らしく生きていく。お互いを尊重する事が大切だと思う。
- ・ジェンダーフリーネイティブになっていると思う。一方でまだ社会通念に女らしさ・男らしさを求める傾向があり、違和感を覚える。自分の身近なところから、子供たちに恥ずかしくない社会にしていなくてはならないと思う。
- ・ジェンダーフリーのベースは、人権尊重という言葉に胸をうたれた。

## 男女共同参画標語コンテスト最優秀賞作品（敬称略）

小学5年生、応募総数119点、中学2年生、53点の中から、次の2点が最優秀賞に選ばれました。

**小学5年生の部** みんなとちがっていい 自分らしくいられるなら  
自分が光る みんながかがやく そんな社会に  
田口 優愛（大宮北小）

**中学2年生の部** わたしが主役 あなたも主役  
個性を尊重し 一人一人が輝ける社会へ  
齋藤 仁子（東陽中）

## ご存知ですか？

栃木市  
マスコットキャラクター とち介



栃木市では、市役所の市民スペースや吹き抜け、市図書館に展示スペースを設けて「男女共同参画」や「女性に対する暴力をなくす運動」についてピーアール活動を行っています。



男女共同参画週間  
6/23～6/29



女性に対する暴力をなくす運動週間  
11/12～11/25

## 相談してください ～DVに悩んでいるあなたへ～

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、配偶者や交際相手など親密な関係にある男性から女性へ（女性から男性へ）の暴力をいいます。

DVで困ったときは、ひとりで悩まず、ご相談ください。

栃木市配偶者暴力相談支援センター TEL 0282-21-2218  
栃木警察署 TEL 0282-25-0110  
とちぎ男女共同参画センター相談ルーム TEL 028-665-8720  
認定NPO法人 ウイメンズハウスとちぎ TEL 028-621-9993



女性に対する暴力根絶のための  
シンボルマーク

**編集後記** 今回12号を発行いたします。  
コロナ禍で行事等の情報が少ない中、男女共同参画社会づくりに、より関心を持っていただける紙面を心がけました。



編集／きららとちぎ編集員（栃木市男女共同参画地域推進員）

発行／栃木市生活環境部 人権・男女共同参画課 〒328-8686 栃木市万町9番25号 TEL 0282(21)2162 FAX 0282(21)2692

※氏名については、敬称略で表記しました。